

令和3年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名 称	ハワイ自然科学研修オンライン講義
期 日	令和4年1月26日(水)、28日(金)
会 場	長岡高校(本校)とハワイ島モクパーパパディスカバリーセンターを オンラインで接続
対 象	1年生全員(8クラスを2日間に分けて実施)
目 的	感染症のため渡航できなくなったハワイ自然科学研修の代替として、 ハワイ島の研究施設「モクパーパパディスカバリーセンター」の研究成 果に関する講義を受講し、科学や科学技術への興味・関心を高め、特に 環境問題に関しての理解を深める。
演 題	Our Shared Ocean Through the Eyes of the Albatross ～アルバトロス(あほう鳥)から学ぶ海洋ゴミ～
講 師	<ul style="list-style-type: none"> • Justin Umholtz (Education Coordinator) • Malia Evans (Education Coordinator) Mokupapapa Discovery Center Affiliate - National Oceanic and Atmospheric Administration



自然科学研修事業の紹介



オンライン講習の様子1



オンライン講習の様子2



質疑応答

アンケート評価	<p style="text-align: center;">オンライン講習について</p> <p style="text-align: center;">講習内容について</p> <p>コロナ禍で渡航ができず、急遽1年生全員を対象にしたオンライン講義に切り替えて実施した。通訳を介してではあったが、すべてが英語での講習であり、科学用語が登場するなど、やや難しさを感じた生徒が多かったが、振り返りシートでは環境問題に今後積極的に取り組む姿勢が見えるなど、多数の生徒が満足した講習であった。</p>
感想など	<ul style="list-style-type: none"> ・ハワイでは固有種や豊かな自然があり、それを守るためにたくさんの方が協力して海洋ゴミの回収を行っていることがわかった。日本でも海洋ゴミの回収など、海をきれいにするための活動を行っていることは聞いたこともあるが、あまり積極的に行われているようには思えないし、ハワイのようにたくさんの方が自然を守るための活動を協力して行っているというようにも思わないので、日本ももっと自然を守るために積極的に様々な取り組みを行うべきだと思った。そのためにも、まず自分たち一人一人が環境問題について詳しく知り、人任せにするのではなく、自分から行動するようにすることが大切だと思った。 ・環境問題に関する研究がかなり進んでいると知り、情報を得た。次の段階ではアクションを起こすことが必要だと感じました。先生がおっしゃっていた「環境のために何ができるか」という問いに関して、まだ明確な答えは出ていませんが、答えを1つに絞らなくても、正確性に自信がなくても、「とりあえずやってみる」ということが大切だと思います。今回学んだハワイに関する知識や、環境問題に関する知識を周りの人に発信して、環境に対する興味を深められたら良いと思いました。また積極的に環境保護活動に参加していきたいです。